

多久市立東原彦舎西溪校学校だより No.17

丹邱学舎

西溪ツインズ



横田ドラゴン

金山ドラゴン

令和元年12月16日(月)発行 校長 川崎 朗
自信と誇りを持ち 自ら学び 心豊かに たくましく生き抜く 西溪っ子の育成

CSフェスタ、貴重な体験となりました!

11月30日(土)にCS(コミュニティスクール)フェスタを開催しました。

本校は、コミュニティスクールとして学校運営協議会を中心に地域の声を学校運営に生かしながら、地域に根ざし、地域とともに歩み、地域に信頼される学校づくりに取り組んでいます。CSフェスタは、その一貫として行っているものです。

前半は講演会で、多久市郷土資料館の志佐喜栄さんを講師として「西溪校区を知ろう」という演題で、地域の歴史や自然などを紙芝居や昔話なども使って、分かりやすく話をさせていただきました。後半の親子ふれあい活動では、1・2年生が昔遊びとスライム作り等、3年生がミニミニ運動会、4年生がタイムカプセル作り、5年生がハーバリウム作り、6年生が上絵付け(県ものづくり体験活動事業)、7年生が苔玉作り(県ものづくり体験活動事業)、8年生がしめ縄作り、9年生が卒業式用コサージュ作りを行いました。各学年とも多くの保護者や地域の皆様の協力を得て、楽しく活動できていました。



志佐先生の講話



1・2年生の昔遊び



3年生のミニミニ運動会



4年生のタイムカプセル作り



5年生ハーバリウム作り



6年生の上絵付け



7年生の苔玉作り



8年生のしめ縄作り



9年生のコサージュ作り

学力向上フォーラム、貴重な体験となりました!

C S フェスタが開催された11月30日(土)の午後から多久中央公民館において「佐賀県学力向上フォーラムイン多久」が開催されました。多久市では、「多久は子どもが主役」を合い言葉に、市内3校の児童生徒が多久市の義務教育学校の特徴や学校の様子について説明をしました。本校からも、9年生の西溪会、6年生の運営委員会のみなさんが、本校の様子について説明をしてくださいました。また、多久聖廟ボランティアガイドをしている児童生徒のみなさんも参加して日頃の活動の様子を説明しました。

多久市内はもちろん、県内各地から参加者がありましたが、子どもたちは堂々と発表をしており、子どもたちの力に本当に感動する機会となりました。多くの保護者や地域のみなさん間も出席していただき、同じような感想を持たれたのではないのでしょうか。



新しい西溪会をよろしく願います!

12月5日(木)に新しい西溪会会長を選出するための立ち会い演説会及び投票が行われました。8年生から3人が立候補してくれ、それぞれが選挙公約を述べて自分が会長になったときに学校をどのようにしていきたいかという思いを堂々と述べてくれました。

鈴田美空候補は、「生徒が主体性を発揮する学校づくり」、梶原泰惇候補は「学年関係なくみんなが楽しめる学校づくり」、村石侑麻候補は「挨拶、そして自身に満ちあふれる西溪校」と、それぞれが理想と思う学校について原稿をみることなく、聞いている児童生徒の方をしっかりと向いて堂々と熱い思いを語ってくれました。

演説会の後に行われた投票の結果、梶原泰惇候補が会長に当選しましたが、3人ともすばらしく、新しい西溪会の中心になり、これまで9年生が築き上げたものを土台にしながら、さらにすばらしい西溪会をつくってくれるものと大いに期待しています。

本日、任命式を行い、7・8年生の以下の人たちを本部役員、専門委員会正副委員長として任命しました。

私は学校の中で児童生徒回活動は最も重要なものだと考えています。学校は児童生徒が主役であり、児童生徒が自分たちの力で自分たちが理想とする学校をつくっていくことが一番大切だからです。ここでは西溪会の本部役員や専門委員会の人たちだけで何遂げていくことはできません。すべての児童生徒の力が集まって、初めて実現できるものです。

これから新しい西溪会が様々な場面で活躍してくれると思っています。保護者や地域の皆様の応援をよろしく願います。



会長：梶原 泰惇 (8年) 副会長：鈴田 美空 (8年)
議長：村石 侑麻 (8年) 庶務：中村 太河 (7年)
文化整美委員長：藤田 真央 (8年) 副委員長：山北 美来 (7年)
生活図書委員長：久保妃奈花 (8年) 副委員長：大川内友里 (7年)
放送体育委員長：瓦田亜美紗 (8年) 副委員長：江打 剛 (7年)
給食保健委員長：瀬田 毅 (8年) 副委員長：西山さくら (7年)